

インフルエンザ予防接種のご案内

来院時の混雑や待機時間の延長を避けるため、今年度も完全予約制とさせていただきます。
大変ご迷惑をお掛け致しますが何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

接種期間： 毎週土曜日 17:00～18:00

⇒10月9日(土)から接種開始します

(本年度はインフルエンザワクチンの生産量が少ないため、土曜のみの接種とさせていただきます)

料金： 4000円/回 (※65歳以上の方は市町村で異なります)

お支払いは、現金もしくはPayPayのみとさせていただきます。

《 予約方法 》 10月1日(金)現在、11月13日(土)まで予約が可能です。

(追加の入荷に関しましては随時ホームページでお知らせいたします)

・来院もしくは受診時(診療時間内)

・電話予約

⇒電話予約受付時間 平日・土曜 11:20～12:20
☎ 093-641-3641

※今年度はネットでの予約受付はしておりませんのでご注意ください。

※お子様の2回目以降の予約につきましては、1回目の接種が終わり次第2回目の予約が可能となります。

ただし、ワクチンの本数に限りがあるため予約できない場合もありますのでご了承ください。

- ・体調不良にてやむを得ずキャンセルをされる方はなるべく早めにお電話にてご連絡下さい。
- ・受診時、来院時に予約をされた方には事前に問診表をお配りさせていただきます。
当日、記入した問診表をお持ちいただければ、早めにご案内できますのでご協力お願いします。
⇒電話予約された方も接種日までに来院いただければ受付にて問診表をお渡しできます。
- ・**65歳以上の方**は、所定の問診票がございますので当日記入していただきます。
- ・母子手帳に接種記録の記載をご希望の方は、ご持参ください。
⇒当日忘れた方は、後日記載ができないためご注意下さい。

原則として新型コロナワクチンとそれ以外のワクチンは同時に接種できません。

新型コロナワクチンとその他のワクチンは、互いに片方のワクチンを受けてから2週間後に接種できます。

(例) 10月1日に新型コロナワクチンを接種した場合、他のワクチンを接種できるのは、10月15日
(2週間後の同じ曜日の日)以降になります。

厚生労働省 新型コロナワクチンQ&Aより抜粋

インフルエンザワクチンの接種について

インフルエンザの予防接種を実施するに当たって、受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。そのため、裏面の予診票に出来るだけ詳しくご記入下さい。お子さんの場合には、健康状態をよく把握している保護者がご記入下さい。

ワクチンの効果と副反応

予防接種により、インフルエンザ感染を予防したり、症状を軽くすることができます。また、インフルエンザによる合併症や死亡を予防することが期待されます。

一方、副反応は一般的に軽微です。注射部位が赤くなる、腫れる、硬くなる、熱をもつ、痛くなる、しびれることがありますが通常は2~3日で消失します。発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、一過性の意識消失、めまい、リンパ節腫脹、嘔吐・嘔気、下痢、食欲減退、関節痛、筋肉痛なども起こることがありますが、通常は2~3日で消失します。過敏症として、発しん、じんましん、湿疹、紅斑、多形紅斑、かゆみなどもまれに起こります。強い卵アレルギーのある方は、強い副反応を生じる可能性がありますので必ず医師に申し出て下さい。非常にまれですが、次のような副反応が起こることがあります。(1)ショック、アナフィラキシー(蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫等)、(2)急性散在性脳脊髄炎(ADEM)(接種後数日から2週間以内に発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害等)、(3)脳炎・脳症、脊髄炎、視神経炎、(4)ギラン・バレー症候群、(5)けいれん(熱性けいれんを含む)、(6)肝機能障害、黄疸、(7)喘息発作、(8)血小板減少性紫斑病、血小板減少、(9)血管炎(アレルギー性紫斑病、アレルギー性肉芽腫性血管炎、白血球破砕性血管炎等)、(10)間質性肺炎、(11)皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、(12)ネフローゼ症候群。このような症状が認められたり、疑われた場合は、すぐに医師に申し出て下さい。なお、健康被害が生じた場合の救済については、健康被害を受けた人又は家族が、独立行政法人 医薬品医療機器総合機構法に基づいて手続きを行うことになります。

予防接種を受けることができない人

1. 明らかに発熱のある人(37.5℃を超える人)
2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかの人
3. 過去にインフルエンザワクチンの接種を受けて、アナフィラキシーをおこしたことがある人
なお、他の医薬品投与を受けてアナフィラキシーを起こした人は、接種を受ける前に医師にその旨を伝えて判断を仰いで下さい。
4. その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した人

予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなければならない人

1. 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの人
2. 発育が遅く、医師、保健師の指導を受けている人
3. カゼなどのひきはじめと思われる人
4. 予防接種を受けたときに、2日以内に発熱、発しん、じんましんなどのアレルギーを疑う異常がみられた人
5. 薬の投与又は食事(鶏卵、鶏肉など)で皮膚に発しんが出たり、体に異常をきたしたことがある人
6. 今までにけいれんを起こしたことがある人
7. 過去に本人や近親者で検査によって免疫状態の異常を指摘されたことのある人
8. 妊娠の可能性のある人
9. 間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患のある人

予防接種を受けた後の注意

1. インフルエンザワクチンを受けたあと30分間は、急な副反応が起きることがあります。医療機関にいるなどして、様子を観察し、医師とすぐ連絡をとれるようにしておきましょう。
2. 接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすことはやめましょう。
3. 接種当日は、接種部位を清潔に保ち、いつも通りの生活をしましょう。激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
4. 万一、高熱やけいれん等の異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けて下さい。